



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2017年 8月 1日発行

8月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 78 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

相次ぐ負担増 市民に求める前に 超富裕層に応分の負担させるべき



杉谷伸夫・62才
向日市議会議員・無所属市民派
上植野町イトーピア在住

8月から一般世帯の介護保険の利用者負担上限額が約19%、70歳以上の国民健康保険等の負担上限額が約30%上げられました。来年4月には介護保険料の引き上げが見込まれ、8月からは「現役並み所得者」の自己負担が3割に上がります。向日市では更に今年から国民健康保険料の引き上げが進行中です。超高齢社会だから仕方ないのでしょうか？

一方で大企業・超高所得層は減税され、蓄えた巨万の富は投資先を求めて世界中を駆け巡っています。資本金10億円以上の大企業は内部留保を毎年平均約10兆円増やし、純金融資産1億円以上の富裕層100万人が、約250兆円の金融資産を蓄えています。

森友・加計疑惑が見せた、お友達連中の結託の実態

森友・加計疑惑は、こうした1%の上層の「お友達」連中が結託して、好きなように行政を動かし、税金を吸い取ってきた実態の一端を見せてくれました。真相の徹底究明とともに、うまい汁を吸い蓄財をしてきた1%の者たちに応分の負担をさせなければなりません。その上でこそ、99%の持たざる私たちの相互の助け合いではないのでしょうか。(8月1日・杉谷伸夫)

市民の皆さんの声

●狭い道路の側溝の整備を

介護の送迎車の運行が、狭い道路で大変危険です。特に私道は側溝ふたが整備されていない所が多く、曲がるときに車輪がはまるのではという恐れや、高齢者の歩行にも危ない。私道だから行政の責任ではない、では済まない。議会もしっかり考えて解決してほしい。

向日市議会のインターネット配信開始予定

8月28日(月)から、本会議のインターネット中継が始まります。録画配信もその後始まります。詳細は今後、向日市議会のホームページに掲載されます。

向日市議会・定例会の予定

- 8/28(月) 本会議(議案提案)
- 9/6, 7, 8 本会議(一般質問)
- 9/11, 12, 13 常任委員会
- 9/19(火) 本会議(最終日・採決)

杉谷議員は、
9/6(水)14時～
16時頃の見込み

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



向日市の懸案の課題は今どうなってる？

コミュニティ・バス

「いったいどうなってるの？」市民の皆さんからよく聞かれます。来年（2018年）中にバスを走らせる計画です。バスルートについて、昨年8月に各地域で市民が意見を出し合った結果を昨秋まとめ、それに基づいて検討が進められてきましたが、6月26日の地域公共交通会議で、複数のモデル・ルート案が示されました。今後、ルートの決定とバス停位置、バスの車種決定などを進めていくことになります。

- 提案されたモデル案に共通するのは、
 - ①南北2つのルート、②それぞれ右回り・左回りの運行を設定、③1時間サイクルのバス運行
 - 難しい点は、
 - ①主要道路の他、細かく希望ルートを回ると時間がかかりすぎる、②狭い道が多く、安全運行するには小さなバス車種にせざるを得ない
 - 議論の方向は、
まず走らせることを優先し、その後問題を改善してゆくことが確認されました。バリアフリー車種は、当初は採用できない可能性があります。
- ★「向日市地域公共交通会議」で検索すれば、これまでの資料・議事録があります（8月1日時点で、6月26日の最新の資料は未掲載）。

市民会館・市庁舎の建て替え

現在の市役所敷地内に市民会館と市庁舎の複合施設として2020年度中に建て替える方針で、今年度中に基本計画を策定予定です。市が全世帯アンケートを実施中（広報むこう8月号に折込み／8月中）。議会も特別委員会を設置し対応します。

中学校給食

中学校で全員喫食の給食を2019年度を目途に開始予定です。西ノ岡中学校の敷地内に給食センターを建設し、他の2校へ配送します。現在、給食センターの実施設計に着手したところで、中学校給食実施にむけた諸準備が進められています。

災害備蓄飲食料の未収問題

手配した災害備蓄飲食料の半数が2年にわたって未入荷だった問題は、現在は予定量が備蓄され、関係者の処分が行われましたが、真相究明には至っていません。市の損害（約800万円）を関係者に請求し、市民負担を発生させない約束です。

65歳以上で、医療費自己負担「3割」の方へ 「負担割合変更」の申請を忘れていませんか？

所得や収入の条件によっては、自己負担割合が少なくなります。チェックしてみてください。

●65歳～70歳未満の方

医療費の自己負担割合が一般は3割ですが、課税所得が145万円未満の方、その他収入が一定以下の方は、申請すれば2割になります。かなりの方が該当するはずです。

★申請用紙は送られてきませんので、自ら市役所に申し出て手続きする必要があります。

●70歳～75歳未満の方

医療費の自己負担割合が一般は2割、世帯内に課税所得が145万円以上の被保険者がいる方は

3割ですが、収入が一定条件以下の方は、申請すれば2割になります。

★該当する方には、市役所から申請用紙が送られていますので、忘れず手続きを！

●75歳以上の方

医療費の自己負担割合が一般は1割、世帯内に課税所得が145万円以上の被保険者がいる方は3割ですが、収入が一定条件以下の方は、申請すれば1割になります。

★該当する方には、市役所から申請用紙が送られていますので、忘れず手続きを！

※不明な点は市役所に電話して問い合わせ下さい。

向日市議会・臨時議会

役員改選・所属委員会等を決定

8月1日、向日市議会は臨時議会を開き、残り任期2年間の役員改選を行いました。

杉谷伸夫は今後2年間、以下の委員会等に所属することになりました。市政と市民生活に関することすべてに取り組みますが、以下の分野は特に専門的に関わることとなります。

●厚生常任委員会：福祉分野を担当

子育て、介護、障がい、医療・健康推進・衛生、生活保護その他、福祉関係全般を担当します。市民の皆さんの生活に最も身近で、かつ向日市の事業の中で最も多くの予算がついている分野です。市民のみなさんの立場に立った福祉の実現にむけて、頑張ります。

●議会活性化特別委員会：議会改革を進めます 「議会が何をしているかよくわからない」—こ

市民派議員・学習交流

森友学園開校予定地を視察

「介護保険のこれから」 を考える

7月21日、豊中市で近畿市民派議員の学習交流会が開催され、参加してきました。

瑞穂の國記念小学院、完成間近で放置

豊中市は、森友学園が開校を予定していた瑞穂の國記念小学院がある所です。この問題を最初に追及し暴露した豊中市会議員・木村真さん達が今回の市民派議員・学習交流会を企画されました。

学校は、ほぼ完成間近の状態为建设残土や資材が放置され、回りはフェンスで囲われたまま。伊丹空港へ向かう飛行機が、上空をひっきりなしに飛び交います。きっかけは木村真さんが、建設予定地を囲むフェンスに「森友学園」と書かれていたことに気づいたこと。隣接する大阪府で運営する塚本幼稚園は、異常な右翼教育で有名だったの

うしたご批判をしっかりと認識し、市民代表としての議会の働きを高め、市民の皆さまにお返しできるよう、向日市議会の改革に取り組みたいと思います。委員長に就任しましたので、改革の結果が残せるよう頑張ります。

●市庁舎等検討特別委員会

市役所と市民会館の建て替えについて市民の皆さまの意見を聞き、議会としての調査・提言をしてゆくため、特別委員会が新たに設置されました。この特別委員会には、全議員が所属します。

市庁舎と市民会館の建て替えは短期間で進められる見込みですので、この特別委員会の役割は重要です。

●乙訓環境衛生組合議会議員：ごみ処理・減量

乙訓2市1町の共同でごみ処理（焼却・リサイクル・埋立）を行なう乙訓環境衛生組合（クリーンプラザ乙訓）の議会に、向日市議会から3名の議員を派遣しています。私は、ごみの減量・循環型社会づくりをめざし、これまでの2年間に引き続いて議員を務めます。（杉谷 伸夫）



です。「こんな所が運営する小学校を豊中に造らせてはいけない」との思いで、一人の市議会議員の徹底調査が国政を動かす動きに繋がりました。

「自立支援」で介護打ち切り？

学習テーマの1つは「介護保険・新総合事業のこれから」で、高齢社会をよくする女性の会の方が講演。最初は保険料2900円、本人負担1割で始まったのが、保険料は倍増、軽度者の介護保険外し、自己負担の引き上げなど、次々と制度改悪が進んでいます。市町村によっては「自立支援」「介護からの卒業」と称して必要な介護を打ち切る動きが出ているそうです。向日市の介護制度がそうならないようにしたいと思います。（杉谷 伸夫）

「安倍政治」

いよいよ終末か!

安野 洋子

我が家の東南角の生け垣に「安倍政治を許さない」を掲げて2年になる。阪急西向日駅から7分の場所なので、駅へ急ぐ人も必ず目に入ると思う。

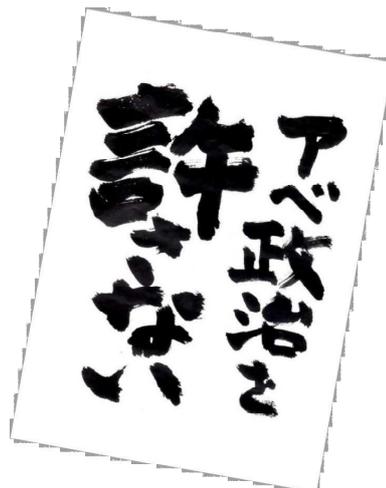
7月2日の東京都議選で安倍政権は自民党57議席から23議席という歴史的な大敗を喫した。思い返せば、2012年の衆議院選挙から勝ち続け、2013年の参議院選、2014年の衆議院選、そして昨年の参議院選では、政権与党が衆参両院の議席の3分の2を獲得したことから、自信満々になった。

その力で、みんなの大反対を押し切って「共謀罪」を「テロ対策法」として成立させた。それに「森友学園」や「加計学園」に関しての「忖度」「意向」の説明不足を「印象操作」と片付けた。

法務大臣や防衛大臣のいいかげんさ、それに2回生議員の不祥事の数々はあったが、根本は「安倍内閣」の聞く耳を持たない強引さに、みんな腹立たしく思ったのだ。

2013年の「国家秘密法」、2014年の「武器輸出3原則」の見直し、2015年の「安保法制」と数々の悪法を通し、どれだけ日本を戦争のできる国に近づけたか、私たちは忘れてはならないと思う。

「安倍政治を許さない」から「憲法9条を変えさせてはならない」を、一日も早く掲げることができることを願っている。



反原発自治体議員・市民 連盟関西ブロックが発足

7/23大阪で発足のつどい開催

7月23日、大阪で「反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック（略称：議員・市民連関西）結成集会」が開催され、私も参加しました。

反原発自治体議員・市民連盟は、これまで放射線測定や学校給食の安全対策、原発に依存しないPPSからの電力購入などを進めてきましたが、現在若狭の原発再稼働の動きが急ピッチで進められており、再稼働を止める取組を強めようと、関西ブロックを立ち上げました。

「原発で地域振興」は失敗

集会は、「なぜ原発で若狭の振興は失敗したのか」と題して、元福井県越前市議の山崎隆敏さんが記念講演。原発は、実は地域産業の振興に

つながらず、地域の発展を阻害してきたことが、実証データに基づいて説明されました。

全町が避難対象区域となっている福島県大熊町から参加いただいた町議・木幡ますみさんは、「避難指示解除された地域も、昼間は人がいるが夜になると多くの人が帰ってしまいひっそり。そんな状態で復興と言っても簡単ではない」など、現地の大変な実情を報告されました。

福井県敦賀市議の今大地晴美さんは、「自分も原発に関係する仕事だったので、福島の事故までは声をあげて反対と言えなかった。今は福井地裁に高浜3、4号機の運転差し止めを裁判で求めている。それぞれの人格権を主張して取り組みましょう」と発言。

市民グループ・若狭の会の方から、毎月2回4日間、おおい町、高浜町に行き集落のすみずみにチラシを配り、会う人一人一人に話しかけてきたが、原発のお膝元の町でも8-9割の人が原発に反対だと感じたとの話がされました。

反原発自治体議員・市民連盟は、8月上旬と下旬に、おおい町と周辺自治体へ再稼働に反対する要請、請願に取り組みます。皆さんもぜひご参加ください（関心のある方は、ご連絡ください）。
(杉谷 伸夫)